家庭数

あんぜんくんだより

安全指導部会報

～冬休み特別号～

2012 No.3

こんにちは♪ 安全指導部です☺ メリークリスマス☆ 良いお年を

― シキボウ前で登校指導 ―

通勤・通学の時間帯ということで、車やバイク、自転車もとてもスピードが出ています。信号待ちをしている子供達のすぐ横を車が右左折してきたり、工事の為、大きなトラックが通学路に停車していたり、横断後の道が狭くなっていたりと危険がいっぱいです。親子で気をつけなければいけない場所だと思います。笑顔で、大きな声で、あいさつをしてくれたり、信号待ちの時にお話をしてくれたり、子供達から"元気"をもらっています。私達親が、しっかりと子供達の安全を見守っていきたいと思いました。

今年、私自身、安全指導部に所属し気づいた事がありました。　登校指導！
決められた時間、決められた場所は無理でも大丈夫！
自身の通勤時間＝登校指導の時間と考える♪
子供達と出会ったら…
『おはよう。気をつけてねッ』と声をかける。
時には、車内から『一列に…』とジェスチャーで伝える。ちょっとした事だけど…そういう事も、登校指導の一つだと気づきました。
皆さんのちょっとした言動が、子供達の安全につながります。心の持ちようで、毎日登校指導♪♪♪来年も、子供達が安心して登下校できるよう、ご協力の程よろしくお願いします。

登校指導をしていると、子供達はいつも元気よく「おはようございます＝」と可愛い笑顔で挨拶をしてくれています。元気いっぱい楽しそうに登校している子供達に、元気を分けてもらい、楽しい登校指導が出来ました。安全指導部では登校指導だけではなく、防災に対する意識も高まり、子供達の可愛い笑顔を守り続けたいと思いました。

子供たちの登校する笑顔に元気をもらい登校指導に立たせて頂きました。
保護者の皆様も本当にありがとうございました。明日から冬休み。無事故で思い出いっぱいのクリスマス、お正月を過ごしてくださいね！
1月8日、元気いっぱいの子供たちに会えることを心から楽しみにしています。

冬休みを前に…

冬休みは、クリスマス、お正月など楽しいことがいっぱい！
でも寒さからか、いつもより車の数も増えがちで危険もいっぱい！
冬休み中は、黄色い旗を持ったお父さんやお母さん、先生たちはいないから、自分でしっかり交通ルールを守ってお出かけしてね(^^)

防災学習シリーズ第2弾

11月17日(土)、和歌山県警より「津波避難推進官」にお越しいただき、保護者対象の講演会を開催しました。(於、ランチルーム)
和歌山県警では、東日本大震災後、津波避難啓発用DVDを作成したり、新たに設置した「津波避難推進官」が各種会合や避難訓練で講演を行っています。
県警だけでなく、和歌山大学や和歌山県、和歌山市、みんなが近い将来、訪れるであろう大きな地震・津波に向け、対策を練っています。
ただ、まず第一に、「自助」＝自分で自分の身を守ることが基本だと思います。

想定にとらわれず！ → 率先避難者になる勇気を持って！ → 最善を尽くす！

冬休み中のお子さまの帰宅時間とともに、
災害時の避難場所も含め家族で話し合う習慣を

「想定にとらわれるな」

8月27日、ホテルアバローム紀の国で行われた、群馬大学教授 片田敏孝先生の講演会に参加してきました。
片田先生は、全国各地で津波防災に関する講演や教育を行われており、東日本大震災の際には、先生の教えを守り避難した岩手県釜石市の小中学生2,926人が無事で、亡くなられたのはわずか5人であったとのことでした。
講演を聴いた感想ですが、まさに「目からウロコ」でした。
先生が講演中に言われた、「避難3原則」のうちの1つ「想定にとらわれるな」で述べられていた、「ハザードマップ(＝想定)」が原因で避難しなかったことにより、多数の方が亡くなられたという事実に衝撃を受けました。
片田先生の講演は、とても聴きやすく、地震や津波に対する考え方を改めさせられる内容です。皆さんも、機会があれば、ぜひ一度、片田先生の講演を聴いてみてください。
きっと目からウロコが落ちると思います。